

医療提供対応状況について（介護施設）～詳細～

Page 1

登録No 29

1. 施設名	介護付有料老人ホーム 高砂苑		
2. 住所	〒	801-0825	
	門司区黒川西2-6-2		
	TEL	093-341-2233	
	FAX	093-341-2266	
3. 地区	門司区	黒川西	
4. 入所相談対応者	公開	①氏名	田窪 恵子
		①職種	看護師
		②氏名	魚田 恵一
		②職種	生活相談員
5. 施設種別	介護付き有料老人ホーム		
	【補足】『その他』（詳細）	—	
6. 施設の居室 タイプ・ベッド数	従来型		
	【補足】『従来型』（詳細）	①個室	あり
		②ベッド数	92床
7. ショートステイ	あり	【補足】	—
8-1. 看護職員の 雇用状況	雇用している		
	①常 勤	5人	
	②非常勤	—	
8-2. 看護職員の 夜勤体制	公開	オンコールで対応	
		【補足】	
		①『オンコール対応』時間	18:00～7:30
		②『その他』（詳細）	—
9. 施設の入所基準 ～介護度～	×	自立 ⇒ 【補足】	— (年齢)
	○	要支援 1	
	○	要支援 2	
	○	要介護 1	
	○	要介護 2	
	○	要介護 3	
	○	要介護 4	
	○	要介護 5	



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	介護付有料老人ホーム 高砂苑			
10-1. 施設の入所基準 ～若年性認知症～	非公開	若年性認知症患者の受入に係る相談対応の可否 —		
10-2. 施設の入所基準 ～その他～	非公開	受入の可否		
		—	生活保護	
		—	身元保証人がいない	
10-3. 施設の入所基準 ～医療対応状況～	対応可能な項目について			
	A	B	※A…入所時、B…ショートステイ時	
	×	×	経管栄養（胃瘻・腸瘻）	
	×	×	経管栄養（経鼻）	
	×	×	C Vポート	
	×	×	中心静脈栄養	
	○	○	血糖・インスリン注射	
	×	×	点滴静脈輸液	
	○	○	褥瘡処置	
	○	○	膀胱留置カテーテル	
	○	×	膀胱瘻	
	○	×	導尿（自己のみ）	
	×	×	気管切開	
	×	×	人工呼吸器	
	○	○	酸素吸入	
	○	×	腎瘻	
	○	×	浣腸・摘便	
	○	○	ストーマ（消化器・尿路）	
	○	×	血液透析	
	×	×	腹膜透析	
	×	×	感染症（MRSA・疥癬他）	
	○	×	神経難病	
	○	×	喀痰吸引	
	—		×	喀痰吸引（夜間）
	—		○	喀痰吸引（昼間）
	○	終末期		
	—		×	麻薬を用いた疼痛管理
	—		○	施設にて看取り（10-4.実績数）
	—		○	状態悪化時、病院搬送



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	介護付有料老人ホーム 高砂苑				
10-4. 施設の入所基準 (看取り実績)	非公開	昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の看取り実績数 — 件			
11. 手話及び 外国語対応	対応職員の有無など				
	手話	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	英語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
		②人数	—		
その他 対応可能 言語	いない	【補足】『いる』(詳細)			
		①種類	—		
		②人数	—		
12. 食 事	対応の可否など				
	食形態	×	ソフト		
		○	ミキサー		
		○	とろみ		
		×	ムース		
		○	きざみ		
	治療食	×	分割食		
		○	肝臓食		
		○	腎臓食		
		○	糖尿病	⇒【補足】(詳細)	—
		○	塩分制限	⇒【補足】(詳細)	6g
	—	○	アレルギー除去食		
○		嗜好による個別対応			
13. リハビリ対応	公開	リハ加算	算定している		
		リハビリ 職員数	P T	—	
			O T	— ※その他	
			S T	— 看護師	
14. 入浴(浴槽)	×	個 浴			
	○	機械浴	⇒【補足】	車いす	×
			ストレッチャー	○	
			リフト	×	



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	介護付有料老人ホーム 高砂苑		
15. 透析患者の 受診送迎	非公開		—
		【補足】	— に対応
			—
16. その他	公開	入所時、利用者の主治医を事業所嘱託医等に変更している？	
		利用者の状況等に応じてケースバイケースで対応する	
17. 施設の特徴	「終の棲家」として入居者様にはストレスなく毎日を楽しく過ごして頂けるように季節毎、月毎の行事を行っている。毎月15日は誕生食、月1回はご当地メニューを取り入れ、全国の有名な食事を堪能し、冬は五徳を使つての本格的鍋料理を提供しています。「高齢者と食事」がとても大切だと思っています。		



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。